



今月の笑顔

検査センター職員を順次紹介していくコーナーです。私たちは「顔の見える検査センター」を目指しています。先生方のご意見・ご感想をぜひお聞かせ下さい。

♥ 153人目



若葉

今年の 4 月に入所し、尿一般係に配属されました。入所してすぐに、学童尿の検査を担当することになり、毎日忙しくて大変でした。学童尿検診が落ち着いた頃から徐々に日常業務のほうも教えていただいています。初めは慣れないせいか、顕微鏡に酔ってしまい気分が悪くなっていました。ようやく最近顕微鏡に慣れてきて、尿沈渣も見るができるようになってきました。これからは、休日勤務や夜勤業務にも入っていくので、一人で問い合わせに対応できるように、しっかりと業務を覚えていきたいと思っています。

学生の頃はずっとバスケットボールをやっていて、右膝の靭帯を切るという苦い経験もありましたが、また何かスポーツをやりたいなと思っています。これから冬になるので、スキーやスノーボードにも挑戦してみたいと思っています。

♣ 154人目



一枚一枚…

これまで集配業務、営業活動、検体受付・患者属性入力などしてまいりました。現在は、集配部門で検査報告書の仕分け業務を中心に担当しています。一昔前の郵便局内での郵便物の仕分け作業をイメージしていただければと思います。また、倉庫から在庫（依頼書や検体容器etc.）を取り出し、集配員が持って行きやすいよう準備する係でもあります。

安芸地区検査部門との統合もあり、検査報告書の数は以前よりも増えている上、総合報告書のほか患者報告書など種類も豊富で、膨大な数の報告書を仕分けする必要があります。

「検査報告書」は“検査センターの大切な商品”であると肝に銘じ、間違いなく仕分けできるよう集中して作業を行っています。

私は軽登山をやるのですが、一步一步山頂にたどり着くように、仕事でも一枚一枚検査報告書を確実に仕分けていきたいと思っています。